

## 友だちを思いやる言葉づかいをしよう

言葉というものは本当に難しいもので、たった一言がその人に、たいへんな影響を及ぼすことがあります。良いことなら構いませんが、悪口や文句、いじめになるような言葉であれば最悪です。

子どもたちには、「体のひっかき傷はすぐに治るが、心のひっかき傷は治りにくい」と話してきました。

私も小学校時代に、次のような経験を持っています。

小さい時から、全く落ち着きがなかった私は、あるニックネームをもらうはめになりました。(それは、内緒です。絶対に！)

しかし、それは私自身、とても気になる言葉でした。その上、担任の先生まで言うようになってしまったときは、学級どころか、学校中に言われ、すごく不快な思いをしました。

ここで問題なのは、言っている方には何の罪の意識がないことです。言われている方は、顔で笑っていても心には矢が次々に突き刺さっていきます。本当に辛いもので、そのような立場になってみなければ、分かりません。「冗談だったのに。。。。。。」では、済まされないことです。

それでは、どうすればよいのでしょうか。

きちっと教えることです。

**「だめなものはだめ」**

と教えることだと思います。

理由などありません。だめだから、だめなのです。

**「相手を思いやること」**

十分考えてほしいです。